

東京工業大学

窯業同窓会会誌

1988年5月



旭焼原画

ご挨拶

会長 田賀井 秀夫 (昭13)

若葉の季節を迎え、皆様益々御清祥のことと拝察申し上げます。

中山一郎前会長の後の窯業同窓会長をお引き受けして3年が経過しましたが、先輩各位と後輩諸氏のご協力を得てあと1年の任期を全うさせていただきますたいと存じます。

東工大のセラミックスは百年以上の歴史をもっています。昨年末には母校の正門のそばに話題の百年記念館が完成して、特別展示室が開設されました。そこではワグネル先生の資料をはじめとして、平野陶磁器コレクションなど窯業関係の品々が大きなスペースを占めています。窯業同窓会の先輩各位が我が国のセラミック産業の確立に果たした役割りは極めて大きいのであります。

同窓会の一番大事な仕事は会員相互の懇親の輪を拡げることでありと考へます。その意味で総会と懇親会にはぜひおさそいあわせの上大勢ご出席下さるようお願いいたします。

それから、今年度は懸案の会員名簿を発行するため、事務局で鋭意準備中です。名簿の刊行には会員の住所など正確な情報が何よりも必要です。同封のカードに間違いがあれば必要事項をご記入の上返送されるよう、特にお願いする次第です。

それから、1月の臨時総会で会則の改正が認められ、今年度から会費を徴収することになりました。従来は同窓会の運営に必要な経費は少数有志の事業資金の寄附に頼っていたわけです。



が、会費を徴収することになっても事業寄附金の重要性が減るとは考へられません。今後共同とぞ皆様のご協力をお願い申し上げます。

それに加えて名簿を発行するには広告収入が絶対に必要です。これについても関係各位のご尽力をお願いする次第です。



工業材料研究所退官教官懇談会印象記

安田 榮一 (昭41)

去る3月8日、工業材料研究所退官教官懇談会・送別会が開かれた。昭和62年度に工業材料研究所を退官されたのは、黒正清治教授(工材研所長; 建築系)、星野芳夫教授、宗宮重行教授(新素材実験施設長)である。三先生方のご意志で、これまで慣習的に行われていた最終講義もしくは退官記念講演会は行われず、結局、退

官教官送別会の前に、合同の懇談会と称して1人20~30分程度でお話をして頂くこととなった。これは工材研に限ったことではなく、最近の風潮であり、資源化学研究所の久保田宏先生、伊香輪恒男先生も工材研の先生方と同じ様な懇談会を開催された。以下に懇談会の様子を簡単に記す。

黒正教授

最初に壇上に上られた黒正教授は、革丸派の内ゲバ殺人事件（10/30 事件）があったときに教務部長を務められ、昭和 57 年から工材研に迎えられた先生



で、昭和 61 年と 62 年の 2 年間所長を務められた。その間、研究所の発展に尽力され、63 年度の概算要求では定員増の困難なこの時期にセラミック研究センター（純増 1+新素材セラミック実験施設の振替）の設立を達成された。懇談会の話題は研究のお話で、1960 年代鉄筋コンクリートの建物が地震で倒壊する事故が、柱のせん断破壊であることを指摘し、高強度筋（逆対称応力状態）の使用を主張して、この規格化を達成した実績を話された。この間の経験から、実験は予想通りには行かない事が多いので、「短時間で評価するのは危険である。」と結ばれた。尚、4 月からは東京職業訓練大学の校長に就任される。

星野教授

星野教授は、昭和 20 年東京工業大学附属工業専門部化学工業科に入学されて以来、43 年間にわたる東京工業大学での生活を振り返ってお話をされた。終戦直前の数年間は異常で、閣議

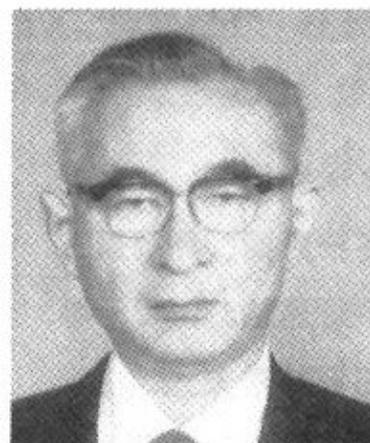


決定で文科系を理科系に転換することが謀られ、商業高校を工業高校にしたり、九州大学と本学に附属工業専門部を設けたりして苛性曹達や過酸化水素（航空燃料）の製造に駆りだされた時代であった。この工業専門部は 2 年のみで終戦と共に廃止され、まさに時代の落とし子的存在（戦争の孤児）であった。このように、工業専門部は東工大百年史の中である意味での汚

点である。決して戦争を繰り返さないで欲しい。条件が変わればこれからも戦争があり得るわけで、本学に所属する教官には、反駁すべきは反駁し、東工大の次の百年の将来を考えて行動して欲しい旨を述べられて話を結ばれた。尚、戦災孤児に関連して、中国残留日本人孤児という言葉は極めておかしい表現で、日本語の誤りばかりでなく、政府の思いやりの無さを指摘された。尚、4 月からは桐陰学園横浜大学で教鞭を取られる。

宗宮教授

宗宮教授は、昭和 23 年本学に入学され、特別研究生、フルブライト留学生としてペンシルベニア州立大学留学、助手、助教授、教授を経て、昭和 48 年には



水熱合成実験施設を設立され、十年の時限の後、新素材実験施設に発展させ、それらの施設長を務められた。しかし、退官直前に、これまで築き上げられた新素材実験施設のセラミック研究センターへの振り替え（即ち施設の廃止）を在任中であるにも拘らずいさぎよしとされた。懇談会では 40 年間の在籍中のことを走馬灯のように思い出されつつ、流れを踏んでご自分の好きな言葉と諺 89 ケを OHP に綴られた。その中のいくつかを下記に示す。尚、4 月から昭和 65 年開学を目指し、西東京科学大学の創設に尽力される。

- ① 1 年の計は元旦にあり。
- ② 桃李もの言わざれども下自ら蹊をなす。
（史記）
- ③ A Happy, Happy, Every Day Happy.
- ④ 空っぽの瓶はやかましく鳴る。
- ⑤ 本当の自分を獲得するために精いっぱい戦え。（道元禅師）
- ⑥ 眠りながら成功する黙想瞑想観想。

(マーフィーの成功の法)

- ⑦ 言いたいことは明日言え。
- ⑧ 雄弁は銀、沈黙は金。
- ⑨ 玉磨かざれば光無し艱難汝を玉にす。
- ⑩ 金は天下の回り物。



昭和 62 年度事業資金寄附者芳名

(敬称略)

- | | | | | | | | |
|----------|--------|--------|--------|--------|-------------|--------|--------|
| 40,000 円 | 真保義郎 | | | | | | |
| 30,000 円 | 各務芳樹、 | 島岡達三、 | 中山一郎 | | | | |
| 20,000 円 | 宇野達路、 | 河嶋千尋、 | 埜崎堅造、 | 山内俊吉、 | 吉田一栄 | | |
| 17,000 円 | 田賀井秀夫 | | | | | | |
| 15,000 円 | 井出善弥、 | 倉田 貢、 | 境野照雄、 | 内藤 繁、 | 中沢三知彦、日浦 致、 | 福井 哲、 | |
| | 森 元邦 | | | | | | |
| 14,000 円 | 佐多敏之 | | | | | | |
| 11,000 円 | 内山 浩、 | 原田 賢 | | | | | |
| 10,000 円 | 赤沢次男、 | 厚見昌弘、 | 居上英雄、 | 五十嵐才吉、 | 石渡 宏、 | 伊藤秀雄、 | 梅田夏雄、 |
| | 奥田 進、 | 開沼章夫、 | 菊地 央、 | 佐治圭三、 | 笹沼宗一郎、 | 佐野川建、 | 新庄重生、 |
| | 鈴木弘茂、 | 田上嘉秋、 | 田中廣吉、 | 田畑精一、 | 田平伸生、 | 長谷川 泰、 | 水野茂樹、 |
| | 丸茂文幸、 | 村上光一、 | 森本孝治、 | 矢島一治男、 | 山本 登 | | |
| 6,000 円 | 市古忠利、 | 猪股吉三、 | 高橋紘一郎、 | 中村周清、 | 水谷惟恭 | | |
| 5,000 円 | 浅野修二、 | 浅野正和、 | 安保英司、 | 飯塚誠厚、 | 石井峰郎、 | 石毛健二郎、 | 井関孝善、 |
| | 伊藤正三、 | 伊奈辰次郎、 | 入江日出男、 | 岩切一良、 | 岩瀬 滋、 | 岩田俊喜、 | 岩元貞幸、 |
| | 宇田川重和、 | 内田健治、 | 梅原一正、 | 大石信男、 | 大内三男、 | 太田千里、 | 大津賀 望、 |
| | 大牟礼勝、 | 大矢克吉、 | 荻島達男、 | 小坂丈予、 | 尾野勇雄、 | 尾野幹也、 | 加藤欽一郎、 |
| | 加藤誠軌、 | 金武典夫、 | 亀井四郎、 | 川浪重年、 | 川村久爾彦、 | 菊地武正、 | 木村脩七、 |
| | 熊代幸伸、 | 小泉善之助、 | 小島豊之進、 | 小松和蔵、 | 子安一義、 | 斎藤進六、 | 重野 剛、 |
| | 柴田 茂、 | 柴山景介、 | 島宗孝之、 | 鈴木博良、 | 武田雄二、 | 田代楠熊、 | 立上照二、 |
| | 田中博一、 | 田中 弘、 | 田辺昌之、 | 田辺靖博、 | 田畑勝広、 | 田村忠臣、 | 角田穎保、 |
| | 外川 進、 | 利根川洋、 | 中川善兵衛、 | 中村 敦、 | 中村哲朗、 | 中村義郎、 | 長崎準一、 |
| | 名取賢荘、 | 成瀬庸一、 | 長谷川安利、 | 浜野健也、 | 福井 博、 | 藤井重信、 | 牧村信之、 |
| | 増田龍治、 | 松田 弘、 | 松永一郎、 | 三沢賢一、 | 溝上登一、 | 毛利尚彦、 | 茂木朝雄、 |
| | 安竹了和、 | 山岸千丈、 | 吉川俊吾、 | 吉武素水、 | 吉田 格、 | 吉田寛一郎、 | 渡辺一行 |
| 4,000 円 | 奥山雅彦、 | 坂本 敏、 | 森川日出貴、 | 山本 広 | | | |
| 3,000 円 | 井川博行、 | 石井鐵彌、 | 井上圭吉、 | 井上 悟、 | 今間朋春、 | 遠藤徳積、 | 太田京一郎、 |
| | 近江成明、 | 大矢真吾、 | 岡田 清、 | 河田幸司、 | 児島弘直、 | 後藤九五、 | 佐々木茂式、 |
| | 関口 淳、 | 高木喜樹、 | 高宮陽一、 | 竹沢義郎、 | 田中治彦、 | 田村信一、 | 出口 茂、 |
| | 友田正雄、 | 中川順吉、 | 延 義之、 | 長谷貞三、 | 平尾 穂、 | 福長 脩、 | 松尾陽太郎、 |
| | 湊 一郎、 | 宮内昌宏、 | 山崎 亨、 | 山田久夫、 | 横谷洋一郎、 | 吉富恒雄、 | 吉谷川貢、 |
| | 李 明正、 | 涌井歳一 | | | | | |
| 2,000 円 | 赤井賢治、 | 浅見琢也、 | 安斎和雄、 | 市原堪治、 | 伊藤紀子、 | 上藺裕史、 | 上田政夫、 |
| | 江上 明、 | 江川弘水、 | 江尻寿憲、 | 大木通胤、 | 大城敦之、 | 大平弘之、 | 岡本十郎、 |
| | 小沢章晃、 | 開田丈夫、 | 片瀬伝治、 | 加藤仁也、 | 加藤 拓、 | 加藤博之、 | 加納立人、 |
| | 菊地光治、 | 日下部中治、 | 倉本 透、 | 桑原清治、 | 小林通夫、 | 小巻卓司、 | 小松原将、 |
| | 坂野義郎、 | 桜井宣隆、 | 瀬高信雄、 | 高橋健太郎、 | 田中満生、 | 田辺徳也、 | 谷口雅男、 |
| | 戸谷陽一、 | 飛川 晨、 | 張 鴻烈、 | 中尾泰昌、 | 中村 篤、 | 中村藤一郎、 | 中村宏昭、 |
| | 長岡為行、 | 西岡正雄、 | 西川直宏、 | 林 宏哉、 | 原田次郎、 | 日笠泰行、 | 平野眞一、 |

深井孝行、藤村善登、船井長治、前沢秀憲、増山久男、松村 茂、満留辰郎、御代健治郎、室山健治、若林 明

法人の部 4,000 円 中部ダンボール

昭和 62 年度収支報告

自昭和 62 年 4 月 1 日～至昭和 63 年 3 月 31 日

収入

前年度繰り越し金	2,049,506 円
新年会会費	400,000 円
事業資金寄附個人	1,358,000 円
法人	4,000 円
銀行利子	37,134 円
合 計	3,848,640 円

支出

新年会経費	411,322 円
記念品代及び送料	98,640 円
印刷代：	
会誌印刷および振込手数料	254,800 円
調査表作成および振込手数料	170,800 円
通信費：	
会誌、調査表送代	444,080 円
総会・懇親会・新年会通信費 (含む振込用紙作成代)	125,860 円
高等学校宛学科案内・会誌送代	60,000 円
料金後納郵便代(調査表返送)	30,635 円
名簿管理用ハードディスク・ソフト代	249,800 円
文房具その他	31,850 円
次期繰り越し金	1,970,853 円
合 計	3,848,640 円

大岡山だより

加藤 誠軌

東工大の工学部は 17 学科から構成されており、無機材料工学科には 6 講座があって、学部
の学生定員は 35 名です。東工大の学部は類別入
学制をとっており、1 年生は 1-6 類に分かれて入
学し、2 年に進むときに志望と成績順に各学科に
所属します。無機材料工学科を希望する学生は 2
類に入学することになっています。2 年次では材
料工学一般について、3 年次では無機材料工学の
基礎専門科目について勉強し、4 年生になると各
研究室に所属して卒業研究に従事します。大学
院理工学研究科無機材料工学専攻の修士課程学
生定員は 19 名です。

今年の学科主任と就職担当教官は福長脩先
生、大学院専攻主任は水谷惟恭先生です。

学部の卒業生は例年のように大部分が大学院
に進学しますので、就職の対象となるのは主と
して修士課程 2 年の学生です。

セラミック材料の重要性が社会的に認識され
るようになって、今年も求人要求が非常に多
く、需要の極く一部しか満足できないことは大
変残念です。

この一年間における無機材料工学科の職員の
異動は次の通りです。

まず、学生臨時増募に伴う時限措置で増設さ
れた材料工学基礎教授のポストに加藤が移っ
て、昨年 12 月に水谷惟恭先生が無機材料講座
の教授に昇任されました。

本年 4 月には、浦部和順先生が龍谷大学の教
授にご栄転になって、理工学部物質化学科の創

設に尽力されています。今後益々のご活躍を期待しております。

それから、工業材料研究所の星野芳夫教授の助手をされていた鶴見敬章さんが材料加学講座の助手に就任されました。

工学部無機材料工学科の組織と職員（昭和63年5月）

講座名	教授	助教授	助手	技官・事務官
無機合成材料	水谷惟恭		篠崎和夫	桜井 修
結晶質材料	福長 脩	井川博行	谷口 尚	福富路子
非晶質材料	山根正之	川副博司	井上 悟 安盛敦雄	
セラミックス原料	大津賀 望	岡田 清	平林順一	三村恭子
材料加工学		大門正機	浅賀喜与志 鶴見敬章	
機能性セラミックス	木村脩七	松尾陽太郎	安田公一	大沢栄也
(材料工学基礎)	加藤誠軌			
(共通)			林 剛	松山勝美 山口千恵子

無機材料工学専攻（博士課程）修了者（昭和62年度）

氏名	研究室	博士論文題目	進路
瀨瀨正己	山根 川副	Structural Imperfections in Silica-Based Glasses and Their Formation Mechanism	日立製作所(株)

無機材料工学科（修士課程）修了者（昭和62年度）

氏名	研究室	修士論文題目	進路
安藤実彦	加藤 水谷	Zr-O-N系セラミックスの合成と微構造	大日本印刷(株)
内山 潔	加藤 水谷	単分散 SiO ₂ 微粒子の焼結と微構造変化	松下電器産業(株)
中村和郎	加藤 水谷	X線トポグラフィ法による MgO 単結晶の圧痕近傍のひずみ解析	東京ガス(株)
舟窪 浩	加藤 水谷	有機金属化合物を用いた CVD 法による窒化鉄薄膜の合成	博士課程進学
呂 宗昕	加藤 水谷	PbFe _{2/3} W _{1/3} O ₃ の生成反応と液相生成	博士課程進学
島 耕司	福長 井川	β"アルミナ構造形 NH ₄ ⁺ -ガレートのイオン導電率と電極反応の雰囲気依存性	三菱化成(株)
谷内俊之	福長 井川	アルカリを固溶したコーディエライトの熱膨張	三菱金属工業(株)
原沢 毅	福長 井川	ZrO ₂ -M ₂ O ₃ 固溶体の結晶化学的研究	豊田自動織機(株)
栗津浩一	山根 川副	Defects in SiO ₂ , SiO ₂ -GeO ₂ Glasses and Oxidized Layer on Crystalline Silicon	博士課程進学
馬屋原芳夫	山根 川副	光分解法による機能性ガラスの作製とその反応機構	日本電気硝子(株)
鈴木龍太	山根 川副	酸化物ガラスの光酸化還元に関する研究	富士写真フイルム(株)
秋山勝徳	大津賀 岡田	噴霧熱分解法によるディオプサイド微粉体の合成と評価	三菱重工業(株)
五島陽子	大津賀 岡田	無機質バインダー用モンモリロナイトの合成とその評価	TDK(株)
星 雄二	大津賀 岡田	TiO ₂ 含有ムライトセラミックスの作製と評価	日産化学(株)

石崎倫朗	大門	ポルトランドセメントの水和反応における各構成鉱物の反応率の測定	三菱鉱業セメント(株)
小西正芳	大門	各種セメント硬化体の乾燥速度とその乾燥収縮について	住友セメント(株)
萩原博之	木村 松尾	アルミナの絶縁耐力と微構造との相関	日経マグローヒル(株)
佐藤 清	木村 松尾	CVD-SiC 薄膜の作製とその機械的性質	東亜燃料(株)
高澤敦朗	木村 松尾	繊維強化セラミックスの機械的性質と微構造との関係	日本航空(株)
金 相東	木村 松尾	多結晶マグネシアの破壊靱性と強度に及ぼす粒径・温度の影響	帰 国

無機材料工学科 (学部) 卒業生 (昭和 62 年度)

氏 名	研究室	卒 業 論 文 題 目	進 路
池田将基	加藤 水谷	単分散 TiO ₂ 微粒子の連続製造	修士課程進学
神田 肇	加藤 水谷	酸素欠損を持った YBa ₂ Cu ₃ O _x セラミックスの TEM 観察	修士課程進学
瀬戸康博	加藤 水谷	アークイメージ FZ 法による MgO-ZrO ₂ 系固溶体結晶の育成	修士課程進学
南條 敦	加藤 水谷	YBa ₂ Cu ₃ O _x の相安定性と分解挙動	修士課程進学
阿隅一将	福長 井川	アルカリを固溶したコーディエライトのイオン導電性	修士課程進学
大橋直樹	福長 井川	超伝導酸化物単結晶の育成と評価	修士課程進学
白井隆雄	福長 井川	WO ₃ の相転移	(株)東芝
寺田博憲	福長 井川	超伝導セラミックスの湿式合成	旭化成工業(株)
安間元哉	山根 川副	アルコキシドの加水分解によるシリカゲル作製に対するホルムアミド添加の効果	修士課程進学
植田尚之	山根 川副	スピノーダル分解における分相構造のシュミレーション	修士課程進学
金子修一	山根 川副	In-Se 系非晶質薄膜の電気伝導	修士課程進学
西沢 学	山根 川副	フッ化ジルコニウム系融液のラマン散乱	修士課程進学
飯田雅人	大津賀 岡田	フラックス法によるムライトウイスキーの合成	第一勧業銀行
上野 晃	大津賀 岡田	2, 3 の陶石原料中の石英のキャラクタリゼーション	修士課程進学
加藤政之	大津賀 岡田	アルミナ混合粉体の焼結挙動	修士課程進学
吉富靖樹	大津賀 岡田	ディップコート法による YBa ₂ Cu ₃ O _{7-x} 膜の作製に及ぼす基板物質の影響	修士課程進学
池尾陽作	大門	セメント-珪石系硬化体の乾燥収縮に及ぼす水熱条件の影響	修士課程進学
市川孝一	大門	Ca ₃ (PO ₄) ₂ の水和に及ぼす熱履歴の影響	修士課程進学
落合忠昭	大門	水熱法による Pb(Zr, Ti)O ₃ -(Bi _{0.5} K _{0.5})(Zr, Ti)O ₃ 系の結晶性粉末合成	修士課程進学
近藤高功	大門	セメントペーストの初期水和に及ぼす各種混和材の影響	修士課程進学
大井田俊彦	木村 松尾	アルミナ円筒の繰り返し内圧疲労挙動	修士課程進学
木村 敦	木村 松尾	CVD-SiC 薄膜の表面弾性波速度の測定	修士課程進学
中野智志	木村 松尾	振動押出成形法の開発	修士課程進学
南澤一右	木村 松尾	アルミナ-シリカ拡散対の作製と界面の組織観察	修士課程進学
松田竜一	澤岡 近藤	放電爆発によるセラミックスコーティング	修士課程進学
相京浩幸	澤岡 近藤	ダイヤモンドの CVD における流れの影響	修士課程進学
沢辺佳成	中川	アルミナ-シリカ質原料の 1000℃ 付近での収縮と結晶化	修士課程進学
土田敬之	丸茂 森川	希土類ガーネット La _{2.5} Lu _{2.5} GaO ₁₂ 中の陽イオン分布	修士課程進学

篠原茂之	丸茂 森川	希土類ガーネット $Gd_3Sc_2Ga_3O_{12}$ 中の陽イオン分布	凸版印刷(株)
井上誠二	宗宮 吉村	$YBa_2Cu_3O_{7-x}$ の安定性に対する陰イオンの効果	修士課程進学
中村隆裕	中村	$YBa_2(Cu_{1-x}Co_x)_3O_7$ 系固溶体の磁性と超伝導性	修士課程進学
赤津 隆	安田	SiC ウィスカー/ Al_2O_3 複合材料の力学的性質に及ぼす ウィスカーの効果	修士課程進学
福島康雄	井関 丸山	照射損傷研究用 Mg-Al スピネル焼結体の作製とその評価	修士課程進学
高島文雄	井関 丸山	Ti-Si-C 系の化合物の合成とその評価	修士課程進学

無機材料工学専攻在学生

(昭和 63 年度)

博士課程 3 年次

萩原 隆 (加藤・水谷)
佐伯 淳 (加藤・水谷)
渡辺裕一 (山根・川副)

井口裕二 (福長・井川)
石崎雅人 (木村・松尾)
市原高史 (大門)
岩崎光伸 (山根・川副)
戒能健史 (福長・井川)

阿隈一将 (福長・井川)
安間元哉 (山根・川副)
池尾陽作 (大門)
池田将基 (加藤・水谷)
市川孝一 (大門)

博士課程 2 年次

樽田誠一 (大津賀・岡田)
林 滋生 (大津賀・岡田)
八木 健 (加藤・水谷)
劉 天泉 (加藤・水谷)
張 玉娟 (加藤・水谷)

小林幹雄 (加藤・水谷)
島 裕和 (大門)
角野裕康 (加藤・水谷)
瀧川賢司 (大津賀・岡田)
田中哲也 (大門)

植田尚之 (山根・川副)
上野 晃 (大津賀・岡田)
大井田俊彦 (木村・松尾)
大橋直樹 (福長・井川)
加藤政之 (大津賀・岡田)

博士課程 1 年次

栗津浩一 (山根・川副)
野中一洋 (大津賀・岡田)
舟窪 浩 (加藤・水谷)
李 建興 (木村・松尾)
呂 宗昕 (加藤・水谷)

谷 淳志 (木村・松尾)
西村聡之 (木村・松尾)
西山 伸 (加藤・水谷)
宮内昌明 (加藤・水谷)
安岡正喜 (大津賀・岡田)
矢野哲司 (山根・川副)
山田俊幸 (福長・井川)
張 俊洪 (山根・川副)

金子修一 (山根・川副)
神田 肇 (加藤・水谷)
木村 敦 (木村・松尾)
近藤高功 (大門)
瀬戸康博 (加藤・水谷)
中野智志 (木村・松尾)
南條 敦 (加藤・水谷)
西沢 学 (山根・川副)
南澤一右 (木村・松尾)

修士課程 2 年次

修士課程 1 年次

無機材料工学工学科在学生 (昭和 63 年度)

学部 4 年次

今下 勝博 (加藤・水谷)
上田 恵司 (沢田・近藤)
内山 一郎 (加藤・水谷)
金田 圭一 (大津賀・岡田)
河村 真一 (橋爪)
越川 克己 (沢岡・近藤)
近藤 隆治 (丸茂・森川)
下村 克彦 (大津賀)
鈴木 康義 (山根・川副)
関 和彦 (山根・川副)
関口 淳之輔 (今井)

高木 保宏 (大津賀・岡田)
高野 章弘 (鯉沼)
高橋 克則 (中川)
水流 靖彦 (木村・松尾)
寺本 吉伸 (福長・井川)
中村 博幸 (木村・松尾)
長野 弘 (中村)
成田 博 (福長・井川)
西 一洋 (大津賀)
二瓶 靖和 (山根・川副)
原山 正明 (井関・丸山)

笛田 和裕 (木村・松尾)
牧 順一 (福長・井川)
町 徳海 (山根・川副)
松浦 新 (安田)
三宅 達朗 (福長・井川)
宮崎 広行 (井関・丸山)
武藤 晴文 (大津賀・岡田)
矢澤 武志 (木村・松尾)
脇谷 尚樹 (加藤・水谷)

学部 3 年次

飯塚 誠
石倉 威文
岩間 宏
遠藤 政彦
小倉 隆彦
加藤 賢
加藤 秀夫
神谷 利夫
川 祐司
菊池 尊行
近藤 正雄
権太 聡
作田 恭一
佐々木 徹郎

沢田 徹
志岐 啓一郎
白井 基晴
鈴木 善貴
田中 完二
田中 雄介
中野 博之

中村 謙次郎
西村 恭
林 和孝
伴 隆幸
伴野 秀邦
平井 浩
平口 英夫

堀苑 英毅
水沼 昌平
村田 裕茂
諸橋 利行
矢崎 陽一
岩男 俊孝
久保 宏一郎

夏目 諭

学部2年次

青木 千歌子	岡野 隆	鈴木 敦	永浜 睦久	山本 浩貴
麻田 和敏	海川 和之	副島 康志	奈良 一孝	湯本 啓市
稲垣 良昭	兼清 浩司	高谷 徹	野添 研治	吉沼 洋人
井ノ下 龍介	苅部 創	滝川 裕史	則本 圭一郎	力徳 達雄
植田 和茂	川野 直樹	竹内 和夫	福山 紅陽	
内田 富大	菊地 真哉	竹本 稔	藤田 賢治	
大久保 博行	久保山 且也	當麻 正人	松笠 治彦	
大和田 毅	小宮 隆行	戸邊 哲哉	八木 邦明	

他専攻修了者

長津田地区の材料科学専攻とエネルギー科学専攻、および緑ヶ丘地区の原子核工学専攻の修了者で、セラミックス関係の研究室出身者の論文題目と進路である。

材料科学専攻（博士課程）修了者（昭和62年度）

氏名	研究室	修士論文題目	進路
金光振	宗宮・吉村	螢石型 (SrF ₂ , PbF ₂)-タイソナイト型 (LaF ₃ , BiF ₃) 関連フッ化物の相関係及び固溶体結晶の水熱合成に関する研究	未定
中山厚志	斎藤・阿竹	単位取得退学	住友金属鉱山(株)
白井 肇	中村	非結晶 Se, Si 系薄膜の化学組成変調による光電変換特性の制御とその応用に関する研究	東京工業大学

材料科学専攻（修士課程）修了者（昭和62年度）

氏名	研究室	修士論文題目	進路
磯村 学	安田	AEによる破壊の識別	日本碍子(株)
稲熊宜之	中村	光音響効果測定装置の試作と磁気転移及び超伝導転移観測への応用	呉羽化学(株)
大西兼司	安田・鯉沼	マグネシア単結晶の高温クリープと組織変化	松下電工(株)
岡野知水	宗宮・吉村	ZrO ₂ -YF-YOw 系におけるジルコニア固溶体の相関係とその特性	徳山曹達(株)
兼 賢一	澤岡 近藤	低圧型窒化ホウ素の多段衝撃圧縮過程	博士課程進学
木村喜一	丸茂・森川	マグネトランバイト型化合物 SrM ₁₂ O ₁₉ (M=Ga, Al, Fe) の結晶構造及び電気的特性	昭和電工(株)
木村博行	斎藤・阿竹	臭素ガス雰囲気におけるステンレス鋼の腐食	(株)資生堂
楠原博行	橋爪	X線迅速粉末回折計の特性評価とその BaBiO _{3-x} の高温結晶構造への応用	住友電気工業(株)
久保寺紀之	宗宮・吉村	水熱アトリータ混合法によるバリウムフェライトの合成	村田製作所(株)
西郷宏明	星野	ホウ酸リチウムの熱ルミネッセンスに関する研究	三井石油化学(株)
斎藤義治	橋爪	GaAs(111)にエピタキシャル成長させたフッ化物混晶薄膜における界面構造のX線定在波法による研究	日本電気(株)
設楽英樹	斎藤・阿竹	液晶材料の相関係と熱物性：ペンチルシアノビフェニルとペンチルシアノフェニルシクロヘキサンについて	(財)鉄道総合技術研究所
高野幸夫	丸茂・森川	超高压下における NiS ₂ の精密構造解析	東陶機器(株)
田平泰規	丸茂・森川	アルカリ土類ケイ酸塩中の遷移金属原子の配位と相平衡に関する研究	博士課程進学
東山基秀	澤岡・近藤	超高速衝突シミュレーターによる PZT 宇宙塵検出器の開発	三菱電気(株)
中村正樹	中川	チタン酸アルミニウムの分解に対する微構造的な研究	富士ゼロックス(株)

花上康宏	宗宮・吉村	超急冷非晶質からのムライト-ジルコニア複合体の合成と評価	三菱金属(株)
平松徹也	澤岡・近藤	衝撃誘起発光による不均一変形過程の評価	旭硝子(株)
八島正知	宗宮・吉村	融体超急冷による希土類酸化物添加ジルコニア準安定正方晶の生成と安定性	博士課程進学
和田智志	今井	ランタン複合酸化物微粒子の調製とその触媒作用	博士課程進学

エネルギー科学専攻 (博士課程) 修了者 (昭和 62 年 9 月)

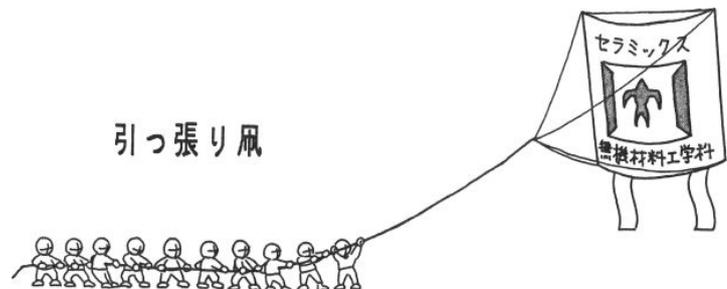
氏名	研究室	博士論文題目	進路
Jonas Kofi Boadi	井関・丸山	Brazing of Silicon Carbide Using Active Metal	ガーナ BRRI * (Building and Road Research Institute)

原子核工学専攻 (修士課程) 修了者 (昭和 62 年度)

氏名	研究室	修士論文題目	進路
末松久幸	井関・丸山	セラミックスの転位の挙動	博士課程進学

エネルギー科学専攻 (修士課程) 修了者 (昭和 62 年度)

氏名	研究室	修士論文題目	進路
高塚孝一	井関・丸山	セラミックス-金属接合体の残留熱応力評価	日本債権信用銀行(株)
永井 徹	井関・丸山	中性子照射した SiC の電氣的性質の測定	科学技術庁



窯業同窓会規約 (昭和 63 年 1 月)

改正)

1. 本会は窯業同窓会と称する。
2. 本会は会員相互の親睦を図り、窯業界の向上発展を期することを目的とする。
3. 本会は事務所を東京都目黒区大岡山東京工業大学内に置く。
4. 本会は以下の事業を行う。
 - (1) 会誌の発行
 - (2) 名簿の発行
 - (3) その他幹事会が必要と認めた事業
5. 本会会員は東京工業大学の窯業関係者で組織し、会員は所定の会費を納入する。
6. 本会の経費は、会費、会員その他からの事業寄附金、その他の収入で支弁する。会計年度は毎年 4 月に始まり翌年 3 月に終わる。
7. 本会は毎年総会を開いて以下について審議する。
 - (1) 会務の報告
 - (2) 役員の変更
 - (3) 規約の改正
 - (4) その他
8. 本会に以下の役員を置き、任期は 2 年とする。ただし再選は差支えない。
 - (1) 会長 1 名
 - (2) 副会長 若干名
 - (3) 幹事 若干名
 - (4) 常任幹事 若干名
9. 会長、副会長および幹事は総会で選出する。常任幹事は幹事の互選とする。

10. 会長は本会を総理し、副会長は会長事故あるとき代行する。常任幹事は会務（庶務、会計）を処理する。幹事は本会の重要事項を審議し、地方、各職場、クラス等の状況および本会に対する意見を本部に連絡する。
11. 本会は名誉会長および相談役を置くことができる。名誉会長と相談役は役員会で推薦して総会で承認を得る。
12. 本会に支部を置くことができる。支部は本部と連絡を密にして会の発展に協力する。

規約改正後の内規

1. 工学部無機材料工学科の卒業生と大学院無機材料工学専攻の修了者（それ以前の、これに準ずる卒業生を含む）を会員とする。
2. ①本学の教官、②本学の他学科、他専攻の出身者、および③本学以外の出身者で、本会との関係が深く、入会を申し込まれた方も会員とすることができる。ただし、本項の会員で一定期間連絡がなく、会費を納入されない方は除籍することができる。
3. 年会費は2,000円（名簿代を含む）とする。年会費を超える納入金はその年度の事業寄附金にあてる。会費を納入しない会員には名簿を送付しない。

太字が改正点です。

昭和62・63年度窯業同窓会役員名簿

会 長 田賀井秀夫	浜野健也、 田中博一、 毛利良雄、
名誉会長 山内俊吉	大槻彰一、 利根川洋、 福浦雄飛、
副会長 素木洋一、 田中廣吉、 境野照雄、	牧村信之、 山本 登、 加藤 鈔、
田端精一	吉田一栄、 佐野川 健、 杉浦孝三、
相談役 石塚正信、 倉田元治、 中山一郎、	各務芳樹、 川浪重年、 菊地 央、
大石信男、 斎藤進六、	成瀬備一、 宗宮重行、 浅野正和、
常任幹事 加藤誠軌、 山根正之、 名取賢荘、	宇田川重和、 亀井四郎、 福井 博、
大門正機、 安田榮一	安竹了和、 山本博孝、 堀江 勲、
幹 事 左右田孝男、 尾野勇雄、 笹沼宗一郎、	矢島一治男、 原田 賢、 吉野成男、
長崎準一、 田上嘉秋、 居上英雄、	中村 敦、 青木 進、 長谷川安利、
福井 哲、 加藤政良、 島岡達三、	尾野幹也、 吉村昌弘、 武 孝夫、
田中 弘、 奥田 進、 佐野和夫、	小坂丈予、 鯉江七郎、 倉田 貢、
赤沢次男、 鈴木哲夫、 藤井豊男、	大場立夫、 水谷惟恭、 井関孝善、
埜崎堅造、 奥田 博、 小出儀治、	木村脩七、 星野芳夫、 丸茂文幸、
梅田夏雄、 藤井重信、 太田千里、	大津賀 望、 中村哲朗、 今井久夫、
鈴木弘茂、 遠藤幸雄、 古賀義根、	齋藤安俊、 井川博行、 中川善兵衛

お 願 い

常任幹事 加藤 誠軌

会長のご挨拶にありますように、懸案の会員名簿を年末に発行できるようにデータベース（下のカードを参照）を整備中です。名簿として最も重要なことはデータの正確さです。同封の葉書に記載されている現住所等をよく確認してご返送下さるようお願いいたします。

名簿の編集、管理はなかなか大変な作業です。なにしろ会員の移動がはげしくて、前回発

送した調査葉書で返信のあった方が約800名です。そのうち現住所など多少とも移動のあった方が700名以上もあります。現在でも日に1通程度の葉書が返送されてくる状況で、遅れて到着した変更通知については訂正が間に合わなかったものもあります。しかも消息不明の方がかなりおいでになります。

